日系企業で初となる豪州のバイオメタン開発事業者への出資
～Optimal Renewable Gas 社と連携し、豪州のカーボンニュートラル化に貢献～

2026 年 11 月 27 日
大阪ガス株式会社

大阪ガス株式会社（代表取締役社長 CEO：藤原 正隆、以下「大阪ガス」）の 100%子会社である Osaka Gas Australia Pty Ltd（以下「OGA」）は、豪州バイオメタン製造プロジェクト開発事業者の Optimal Renewable Gas Pty Ltd（Managing Director：Mike Davis、以下「ORG 社」）に出資することを決定しました。日系企業が豪州のバイオメタン開発事業者に出資するのは初めて※1 であり、また、Daigas グループがバイオメタン開発事業者に出資するのも今回が初めてです。本出資を通じて、大阪ガスは豪州におけるバイオメタン事業の開発を推進し、同国のカーボンニュートラル化に貢献することを目指します。

バイオメタンは、農業・畜産残渣などの有機物が分解される過程で生じるバイオガスを精製したものです※2。原料となる有機物は、成長過程で CO2 を吸収した植物などに由来するため、燃焼しても大気中の CO2 総量を増やさないカーボンニュートラルなエネルギーとして注目されています。農業・畜産業が盛んな豪州では、こうした有機性資源を豊富に活用できることから、バイオメタンの高い導入ポテンシャルが期待されており、また、将来的なガス需給のひっ迫が懸念される豪州東部を中心に、豪州国内で製造・供給できるバイオメタンは、国内のガス供給を補完する選択肢としても注目されています。

ORG 社は、バイオメタン事業の開発・運営を手掛ける事業者で、豪州東部を中心に複数のプロジェクトを開発するなど、豪州において同事業を積極的に進める事業者の一つです。

OGA と ORG 社は、2024 年から、ニューサウスウェールズ州グリフィスで、農業・畜産残渣などを原料にバイオメタンを製造し、既存のガス導管に注入するプロジェクト（以下「Griffith Bio Hub プロジェクト」）の共同検討を進めてきました。今回の ORG 社への出資により、これまでに構築してきた両社の関係を一層強化し、Griffith Bio Hub プロジェクトをはじめとする豪州バイオメタン事業の具体化を推進していきます。

大阪ガスは、これまでのバイオガス・バイオメタン事業や技術開発で蓄積した知見を有しており、これらを ORG 社の事業開発に活かし、豪州におけるバイオメタンの製造・供給拡大を通じて、同国のエネルギーの安定供給とカーボンニュートラル化に貢献していきます。

Daigas グループは、2025 年 2 月に発表した「エネルギートランジション 2050」のもと、脱炭素社会に貢献する技術・サービスの開発に取り組み、気候変動をはじめとする社会課題の解決に努め、暮らしとビジネスの“さらなる進化”のお役に立つ企業グループを目指してまいります。

*1：大阪ガス調べ（2026 年 11 月時点）。当社が確認した公表情報において、日系企業による豪州のバイオメタン開発事業者への出資事例として
*2：バイオメタンは、バイオガスの精製（CO2 除去等）により天然ガスと同程度までメタン濃度を高めたガス。バイオガスは、メタン発酵等により食品残渣、下水汚泥などの有機化合物から発生するメタン・CO2 を主成分とするガス

＜ORG 社の概要＞

会社名	Optimal Renewable Gas Pty Ltd
代表者	Mike Davis
設立	2021 年
本社所在地	ニューサウスウェールズ州ノースシドニー
事業内容	バイオメタン製造プロジェクトの開発・運営

＜OGA の概要＞

会社名	Osaka Gas Australia Pty Ltd
代表者	平林 幹由
設立	2000 年
本社所在地	西オーストラリア州パース
事業内容	豪州における天然ガス上流事業、およびカーボンニュートラル関連の事業開発・投資など

■出資を通じたパートナーシップ深化に向け、共同声明に署名



大阪ガス 常務執行役員 資源･海外事業部長　佐藤 克峰（右）
OGA Managing Director　平林 幹由（左）
ORG 社 Managing Director　Mike Davis（マイク・デイビス）（中央）

＜Griffith Bio Hub プロジェクトの概要＞

事業内容	バイオメタンの製造および既存ガス導管への注入
バイオメタンの主な原料	農業・畜産残渣など
プラント所在地	ニューサウスウェールズ州グリフィス
バイオメタン生産規模	年間 約 6,000 トン
現在の開発段階	FEED（基本設計）
運転開始	2029 年（予定）

■Griffith Bio Hub プロジェクトイメージ図



■Griffith Bio Hub 所在地



以上